

「第 14 回北東アジア OSS 推進フォーラム」を開催

日本 OSS 推進フォーラム(理事長:富士通株式会社 吉田 正敏)は、「第 14 回北東アジア OSS 推進フォーラム」を、2015 年 11 月 17 日(火) にアルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)において開催しました。日本・中国・韓国の産業界、政府関係者、研究機関、大学等より約 160 名の参加がありました。次回フォーラムは、2016 年に韓国で開催することが合意されました。

北東アジア OSS 推進フォーラムは、2004 年以来、日本 OSS 推進フォーラム、中国 OSS 推進連盟及び韓国 OSS 推進フォーラムが協調し、各国における OSS の普及・発展に向けた活動を行っています。各国の産官学関係者からの講演、ワーキンググループ(WG)¹の活動報告、各国で選ばれた OSS 貢献者の共同表彰等が行われました。



写真撮影協力: 柏崎吉一(合同会社エクリュ)

今回の会合では、日中韓のフォーラム参加者が、各 WG から報告された成果と今後の計画に関する議論に基づき、次の合意を得ました。

- 今後の WG 発足のメカニズムをより柔軟かつ高効率にし、2ヶ国の参加でも発足可能とし、残りの国と情報と成果を共有できる様にした。
- 本フォーラムの活動内容をどの様にしていくか、継続して検討して行く。
- 第 15 回北東アジア OSS 推進フォーラムは、2016 年に韓国で開催する。

4 つの WG から報告された主な活動成果と今後の計画は、以下のとおりです。

¹ 北東アジア OSS 推進フォーラムには、①「WG1:技術開発・評価」②「WG2:人材育成」、③「WG3:標準化・認証研究」、④「WG4:適用推進」の 4 つのワーキンググループ (WG) が設置され、各 WG において専門的な議論が行われています。

I. WG1:技術開発・評価

- クラウドベースのアプリケーションをテストし実践を積むための OpenStack ベースのインタークラウドプラットフォームを構築した。
- 既に日中韓の間でインタークラウドテストベッドを展開し、OpenStack のカスケード機能と CSB (Cloud Service Broker)によって管理している。
- クラウド、モバイルインターネット、IoT、ビッグデータ、スマートシティの分野での研究協力の可能性を探求する。

II. WG2:人材育成

- 「IT/OSS コンプライアンス教育のためのスキル定義とサンプルカリキュラム」草案の評価を依頼する。
- OSS の人材開発を推進するために、第 10 回日中韓 OSS 優秀技術賞と第 8 回日中韓 OSS 特別貢献者賞を授与した。
- 北東アジア OSS デモカリキュラムと OSS のトレーニングキャンプの制度を利用して、WG2 は、教材の共有、OSS 人材の認定、および、日中韓における相互認証の共有化を推進する。

III. WG3:標準化・認証研究

- ソフトウェアパッケージデータ交換 (SPDX) 標準の研究を強化し、ユーザの要求や期待に添って、企業が潜在的なリスクを回避するために有用である「FOSS コンプライアンスのための政府と企業のコラボレーションモデル」を執筆する。
- 2011 年以来、RepOSS システムは WG3 によって保守され、システムの効率化と精度向上のために、RepOSS コレクタの一部をよりインテリジェントにした。
- RepOSS システムと「オープンソースソフトウェアの成熟度と適用性評価モデル (OSMAAM)」システムの統合を計画し、SPDX の標準化、OSS サプライチェーン・マネジメント (SCM) における SPDX の適用ガイドライン、および、OSMAAM のアプリケーションの積極的な適用を推進していく。

IV. WG4:適用推進

- 実証プロジェクトと日中韓オープンソースソフトウェア企業ディレクトリのウェブサイト構築のために、マーケティングリサーチやスマートシティや産業界での適用経験の情報交換を積極的に行う。
- スマート観光システムにおける OSS 適用を積極的に促進し、大規模データセンターの開発スキームを提示し、洛陽観光情報計画のために専門的なコンサルタントとして協力し、積極的に他都市へ展開するために洛陽プロジェクトを要約する。
- 実用的なプロジェクト実施のためのすべてのリソースを調整し、日中韓 OSS の成功事例を共有し、企業間の交流と協力を促進する。

本大会議長をつとめた日本 OSS 推進フォーラムの吉田理事長は、大会の最後に議長声明として、「全ての参加者が世界に広がる OSS コミュニティと価値を共有し、日中韓の政府・企業・教育機関や個人を含む各グループの偉大なる努力に大いに感謝します。フォーラムは、日中韓と他のアジア地域における IT 産業の成長をめざし、OSS 市場を拡大してきました。ここに、OSS コミュニティのメンバーとして、オープンな世界を拡大し、豊かにすることを宣言します。」と表明し、本大会を締めくくりました。

本大会後の 11 月 18 日 (水) に、OSS 特別講演会 (トレーニング・キャンプ) を開催しました。第 14 回北東アジア OSS 推進フォーラムへの日本、中国、韓国からの参加者のほか、日本の若手技術者が講演会に参加し、世界最先端の技術を学ぶと共に国際的交流が深まりました。

■本件に関するお問い合わせ先
日本 OSS 推進フォーラム
E-mail: info@ossforum.jp